

岩泉地区合同庁舎清掃委託業務仕様書

委託業務は、この仕様書及び清掃作業基準表に定めるところにより実施するものとする。

1 経費負担

委託業務の経費には、委託業務の遂行に使用する機械、器具及び材料に要する一切の経費を含むものとする。

2 施設及び設備の使用

- (1) 委託業務の遂行に当たり、庁舎管理者の承諾を得て、県の施設及び設備を使用することができる。
- (2) 委託業務の遂行に必要な用水、給湯及び電力を無償で提供するものとする。ただし、受注者はその使用に当たっては、効率的な使用に留意しなければならない。

3 従事者

- (1) 従事者は作業中一定の被服を着用し、上着には会社名及び氏名を記載した名札をつけること。
- (2) 従事者は満 18 歳以上のものとする。
- (3) 従事者は本書に定める作業内容を十分に行い得る者とし、清掃について十分経験を有するものを配置すること。
- (4) 従事者は全て身元確実の者とし、作業を行う場合は、機敏に活動するものとする。
- (5) 乙は、委託業務を実施するために十分な人員を確保するものとする。
- (6) 乙は、罹病中のものは、従事者としなないこと。

4 清掃業務

(1) 作業時間等

ア 日常清掃は、土日、祝祭日、お盆（8 月 12 日～8 月 15 日）及び年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く毎日とし、7 時から 20 時までの間に行うこと。

イ 作業に当たっては、移動した物は定位置にもどし、建物、設備等に損傷を与えないようにすること。

ウ 作業上危険を伴う場所については、安全施設又は安全帽等必要な措置をとること。

エ 従事者は作業終了次第退庁すること。

(2) 清掃計画及び報告

ア 委託業務は、次の区分により実施するものとする。

(ア) 日常清掃作業

(イ) 定期清掃作業

イ 毎月の清掃計画は、前月の 25 日までに提出し、承認を得ること。

ただし、4 月については、当該月の 3 日までに提出すること。

ウ 実施した清掃内容は、翌日（3 月 31 日については、当日）直ちに清掃業務完了報告書により報告すること。

(3) 現場責任者の選任

受託者は、庁舎管理者との連絡調整及び業務従事者の指導監督を行わせるため、従事者の中から責任者一人を選任すること。

(4) 清掃材料等

ア 洗剤、ワックス、機械、器具等の清掃材料は、清掃箇所の材質に適合した品質良好なものをを用いること。

なお、ワックスの選択に当たっては、タイル等の保護に優れた艶出しの良好なものとし、滑りにくいものを使用すること。

イ トイレットペーパー及び石鹼水は、管理者と相談のうえ使用すること。

ウ 委託業務の実施に必要な、トイレットペーパー、石鹼水その他の消耗品の調達に要する経費は、すべて乙が負担するものとする。

(5) 作業実施に当たっての一般的注意事項

衛生及び火気取締りに留意するとともに、委託者の業務に支障のないよう次の事項に十分注意すること。

ア 窓の開閉等により塵芥を飛散させないこと。

イ 作業に使用する機械、器具等の取扱いにより、衝撃、湿気等で備品その他を損傷させないこと。

ウ 作業用材料として、引火性ガソリン及びベンジン等は、絶対に使用しないこと。

(6) 作業の一般的仕様

ア 作業のため、机、椅子、その他物品等を移動又は、使用する場合は、丁寧に取扱い、建物、設備等に損傷を与えないように行うこと。

イ 水拭きは、常に清潔な水を用い、拭き跡のできないように行うこと。

ウ 拭き掃除及び埃払いは、塵芥飛散しないよう吸塵掃除機、モップ又は毛ブラシを使用すること。

エ ガラス器具、鏡、陶器類及び金属の部分の清掃仕上げは、良質で清掃素材に適した乾布を使用して拭き取りを行うこと。

オ 床等を洗浄した場合は、洗剤、水分を完全に拭き取り、乾燥した後にワックス塗布すること。

カ 床面、壁面及び階段等に、インク、果汁、油等の汚れあるときは、それぞれの性質に応じた洗剤を用いて拭き取り、汚痕のでないように行うこと。

キ 集積した紙屑、茶殻、汚物等の可燃物及び不燃物等は、庁舎外の所定の場所に運搬し捨てること。

ク 紙屑等の中から、焼却することが疑問と思われる書類及び資料等を発見したときは、報告し指示を受けること。

ケ 扉の把手、廃棄物容器等の消毒に当たっては、それぞれの目的に合った除菌用洗剤等を使用すること。

(7) 各部分毎の清掃仕様

(日常清掃)

ア 床

(ア) 掃除は、塵芥飛散防止のため、ダストモップを使用し入念に除塵すること。

(イ) 絨毯類の掃除は、絨毯箒又は、真空掃除機を用い、輕易に移動できる椅子衝立等は、移動させたうえで行うこと。

(ウ) ビニルタイル、ゴムタイル等化学建材使用の箇所は、自在箒又は、真空掃除機を使用し、その他は、堅く絞った水拭きモップで塵芥を取り除くこと。また、器具を使用できない箇所は、乾いたモップで除塵すること。

(エ) フローリング等木床面は、万能モップで除塵すること。

(オ) モザイクタイル、コンクリート床は、堅く絞ったモップで除塵すること。

イ その他

(ア) 玄関は、水洗いすること。

(イ) 靴拭マット類は、水洗いすること。

(ウ) 巾木及び踏み込みの汚れが著しいときは、その都度洗剤を用いて清掃すること。

(エ) 便器は、床面清掃の都度拭き掃除を行うこと。

(オ) 汚物入れ及び紙屑入れは、洗剤を用いて洗浄し、消毒すること。

(カ) トイレットペーパー及び石鹼水は、常に補充しておくこと。

(定期清掃)

ア 床

(ア) アスタイル、プラスタイル、リノリウム床等化学建材使用の箇所は、最初に荒掃除し、次に真空掃除機を用いて掃除のうえ、床に付着している汚損物は指定剤で除去し、洗剤をもって全面にポリッシャーをかけ、汚水を拭き取った後十分乾燥し、ワックス塗布すること。また、巾木タイルは、乾布で拭き取りすること。

(イ) テラゾー、人造研出、クリーンカータイル張面は、掃き掃除のうえ付着物を取り除き全面に電気ポリッシャーを用い、洗剤で洗ったうえモップでよく拭き取り、ワックスを塗布すること。

イ 窓ガラス、窓枠、ブラインド等

(ア) 窓ガラスは、水拭き又は乾布で磨きあげること。

(イ) 窓ガラスを石鹼水又は薬液を用いて清掃した場合は、乾布で磨きあげること。

(ウ) 窓以外の扉、間仕切、欄間等のガラスについてもガラスの例に準じて行うこと。
また、窓枠及びブラインド等についても同様に行うこと。

ウ 空調換気扇

空調換気扇が効率的に機能するよう空調換気扇表面、内部フィルター及び熱交換エレメント等を設置機種仕様及び状況に応じて適切に清掃すること。

なお、清掃は年2回実施すること。

5 作業要領の徹底

受託者は、従事者に対し本書の内容を周知させるとともに作業要領等委託業務に必要な事項を教示し、及び訓練を行うこと。

6 その他

清掃業務を実施するため必要と認める休憩室は、県が供与するものであること。